

●『認知症の人のための認知活性化療法マニュアル：

エビデンスのある楽しい活動プログラム』

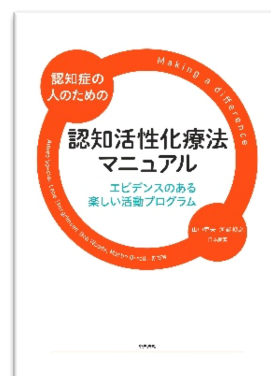
著者：山中克夫，河野禎之（日本版著者）

発行：中央法規出版／2015 年 12 月

価格：本体 2,400 円＋税

判型：B5 判, 128 頁

ISBN：978-4-8058-5277-4



【内容紹介】

認知活性化療法（Cognitive Stimulation Therapy: 以下 CST）は，認知症の人の認知機能に働きかけることを目的としたプログラムです。原版はロンドン大学のスペクター准教授が中心となって開発されました。これは軽度ないし中等度の認知症の人を対象に小グループでクイズ，ゲーム，おしゃべりを楽しみながら，認知機能の活性化や維持を図ろうとするものです。その日本版マニュアルが本書です。

認知的な課題や活動により認知症の人の認知機能や社会機能を全般的に改善しようとするアプローチやプログラムは，国際的に「認知的働きかけ」（cognitive stimulation）と呼ばれていますが，その決定版がこの CST といってよいでしょう。イギリスでは 2003 年に無作為化比較試験による大規模な検証研究が行われ，認知機能のみならず生活の質を改善することが明らかにされています。こうしたエビデンスに加え，コストもかかりにくいことから，イギリスの国立医療技術評価機構(National institute for health and clinical excellence)は 2006 年に CST を認知症の非薬物的なアプローチとして推奨しました。日本版については我々が効果検証を行いました。

各セッションはおよそ 60 分，それを週 2 回ずつ，全部で 14 回，7 週で 1 クールが終了するように作られています。毎回のセッションでは，身近なテーマをもとに活動が組み立てられています。それらの活動は，たとえば，身近な音を聞いてもらい，何の音か当てる音当てクイズをしたり，スーパーのチラシを見て，特売や季節の食材を使った料理を考えてもらったりすることなどです。

日本版マニュアルでは，原版著者の許可を得て，内容を理解しすぐ実施できるように多くの点の加筆を行いました。是非，認知症ケアの実践でご活用ください。

【出版社の書籍紹介ページ】

<http://www.chuohoki.co.jp/products/welfare/5277/>

【著者紹介】

山中克夫（筑波大学人間系准教授），河野禎之（筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター ダイバーシティ部門 助教）